



ISHIKARI BAY



札幌圏の産業拠点

石狩湾 新港地域



Industrial Center of the Sapporo Area

NEW PORT AREA

石狩開発株式会社

<http://www.ishikari-dev.co.jp>

ISHIKARI DEVELOPMENT CO.,LTD TEL : 0133-72-2255

〒061-3241 北海道石狩市新港西1丁目721-11 石狩新港卸センター組合会館2階

FAX : 0133-72-4055 E-mail : kikaku@ishikari-dev.co.jp

721-11, Shinko Nishi 1-chome, Ishikari City, Hokkaido 061-3241 Japan

石狩開発

検索



発行/石狩開発株式会社 令和元年7月
 ※本パンフレットに掲載しているデータは、調査時点のもので、今後変更となる場合がございます。

札幌に近い!

札幌都心から15km・30分の近さ!大規模産業拠点

進出企業は700社、就労者数は15,000人超。製造業・流通業など様々な企業が集積する札幌に最も近い国際貿易港を擁する約3,000haの国家プロジェクトエリアです。

韓国・中国・東南アジア・ロシア・欧州へ!

石狩湾新港地域



企業進出をサポートする石狩開発株式会社

札幌圏最大の工業流通団地「石狩湾新港地域」は、札幌駅からわずか15kmの好位置にあり、札幌の海の玄関口となる国際貿易港・石狩湾新港を核とする総面積約3,000haの産業拠点です。

また、国・北海道・小樽市・石狩市と第3セクターの当社が一体となって開発を進めているこの地域は、全体面積の約3分の1が緑地・公園となっており、「緑豊かなインダストリアルパーク」として、人と環境に配慮したゆとりある就業環境を実現しています。

当社は、これまでに700社を超える企業の進出をサポートしてまいりましたが、この実績は進出企業の皆様の厚い信頼につながっております。

国内有数の企業集積を誇り、札幌圏の産業拠点として着実に発展を続けている石狩湾新港地域への進出を心よりお待ちしております。

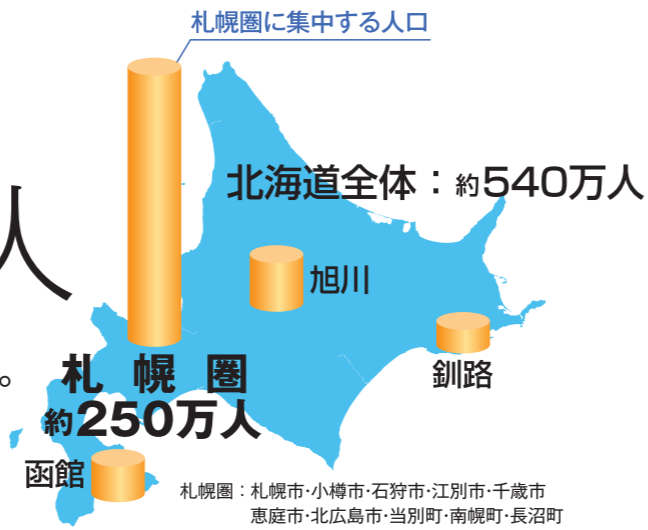


代表取締役社長 豊岡 孝章

札幌圏の人口 約250万人

札幌圏への人口移動が加速しています。

2005年には、札幌市から石狩市へ通勤する流入就業者数が、流出を上回る逆転現象も発生し、札幌圏からの労働力が増加傾向にある状況です。また、公営や民間による大規模な住宅団地が周辺に広がっており、主婦層を中心としたパート労働者の確保にも最適な条件を備えています。



石狩湾新港地域内(新港西3丁目)

札幌圏の労働力人口 約115万人

2015年国勢調査



優秀な人材、豊富な労働力

札幌圏には北海道大学など33校の大学や短大、80を超える専修・各種専門学校のほか、工業系高校や職業能力大学校、さらには試験研究機関や研究開発施設が集中しており充実した人材育成環境が整っています。



北大・北キャンパスに集積する試験研究機関



北海道大学工学部

北海道での新規学卒者は、約8万4千人で、そのうち約2万6千人が道内で就職しています。卒業生は地元道内での就職志向が強く、新港地域では札幌圏はもとより道内各地からの人材確保が可能です。

(単位:人)

2017年3月末	卒業	就職者	道内	道内比率
高校	50,774	7,892	7,298	92.5%
専修学校	10,444	8,816	7,548	85.6%
高等専門学校	700	445	155	34.8%
短大	2,445	1,952	1,816	93.0%
大学	19,340	14,278	8,850	62.0%
計	83,703	33,383	25,667	76.9%

(出典:北海道労働局)



北海道科学大学



札幌駅周辺風景



さっぽろ夏まつり大通ビアガーデン



札幌市営地下鉄

変化ある四季

北海道は春の桜の開花に始まり、澄んだ夏の青空、秋の紅葉、冬の白銀の景色へと四季の変化に富んでいます。とりわけ札幌圏では、夏のさっぽろ大通公園で開催される、「さっぽろ大通ビアガーデン」、石狩では恒例イベントとなった「ライジングサンロックフェスティバル」、秋は「さっぽろオータムフェスト」、冬は「さっぽろ雪まつり」と季節ごとにイベントがあり、市民・観光客で賑わいます。

居住環境抜群

札幌圏には、通勤時間30分~1時間以内の距離で、戸建て住宅や集合住宅が比較的安価な価格帯で取得できる環境があります。充実した住宅事情に加え、ゴルフ場・キャンプ場・スキー場・ショッピングセンターなどの施設も近くにあり、充実した余暇を満喫できます。



©RISINGSUNROCK FESTIVAL photo by:n-foto RSR team

ライジングサンロックフェスティバル



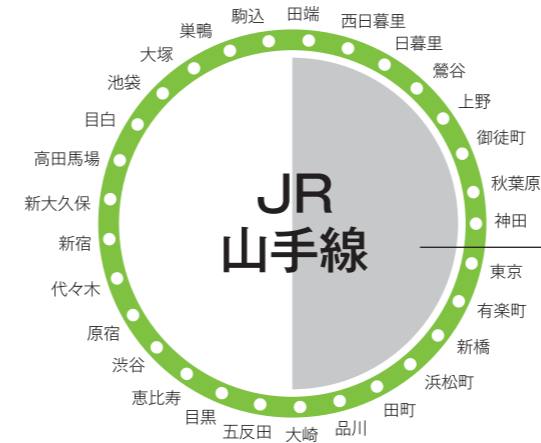
すすきの交差点



さっぽろ雪まつり

面積 3,000ha

緑豊かなインダストリアルパーク



面積3,000haはJR山手線内側の約半分の広さです。
※JR山手線内側の面積は6,300~6,500ha相当

開発計画面積 (単位:ha)

区分	業務用地	緑地・道路	計
工業地区	876	202	1,078
流通地区	263	60	323
管理支援地区	69	26	95
港湾地区	208	268	476
共通地区	7	1,043	1,050
計	1,423	1,599	3,022

全体面積: 約3,000ha
(東西: 約10km、南北: 約3km)

石狩湾新港地域全体図



屈指のインフラ・利便性と充実した立地環境

石狩湾新港地域は、国、北海道、小樽市、石狩市、当社などが一体となり推進しているプロジェクトで、それぞれの事業主体が産業インフラを整備しています。上水道・工業用水道・公共下水道、さらには高圧電力、高速通信などが供給可能で、都市ガス(天然ガス)も一部の地区で利用が可能で、産業廃棄物は当地域内で処理できる体制が整っており、全国でも屈指の産業インフラが整備されています。また開発地域の1/3が公園や緑地として整備されており、すでにコンビニエンスストアやスポーツ施設などの各種サービス施設も立地していることから利便性の高い、良好な就業環境にあります。

緑豊かな就業環境

新港地域の全体面積約3,000haのうち、1/3の約910haが緑地や公園となっており、地域全体が緑に囲まれた安らぎの空間です。また、地域内には野球場やテニスコートが整備されたスポーツ公園のほか、築山や芝生でゆったりとした公園があり、一般市民の憩いの場としても親しまれています。



青葉公園(新港南3丁目)

道路

地域内には、幅員30~55mの都市計画道路と幅員12~25mの区画道路が縦横に計画され、既に約80%が整備済みです。また、札幌中心部に直結する国道231号と道道新川通が共に6車線で整備済みです。さらに、新千歳空港に直結する道央圏連絡道路(国道337号)が、地域高規格道路として計画され、新港地域側は既に開通しています。



小樽石狩線(道道225号)

充実した基盤整備

上水道・下水道、工業用水道が利用でき、高圧電力が利用可能な他、都市ガスの整備も進んでいます。さらに、光ファイバーのサービス供給地域となっており、快適な通信環境が実現できます。また、大型車、トレーラー車がゆったりと通行可能な幅員を有する都市計画道路、区画道路が縦横に整備されています。さらに、産業廃棄物は、すべて地域内処理できる体制が整っています。



石狩湾浄化センター

札幌圏の市民生活を支える企業集積地

進出企業 700社超

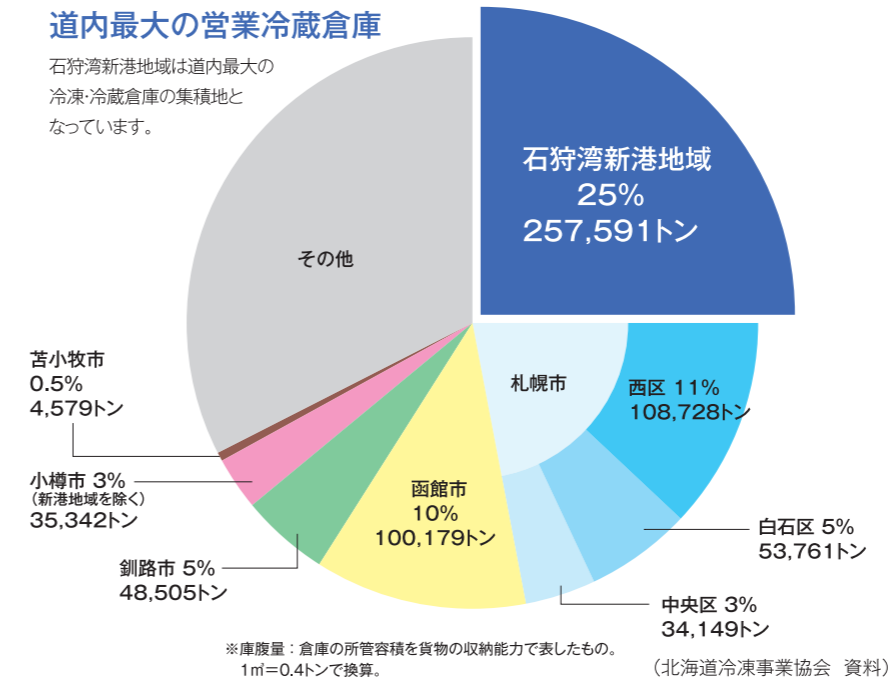
道内・道外からの進出実績が全国有数の産業拠点の証です。

全国有数の企業集積地

石狩湾新港地域は、札幌市の郊外に位置しており、ご要望に応じた区画割りや業務用途に応じた用地提供が可能です。すでに道内・道外から700社を超える企業が立地しており、就労者数が15,000人を超える、全国有数の産業拠点を形成しています。これは交通アクセス、人材確保などのさまざまなアドバンテージやコストパフォーマンスの良さが認められた証です。

道内最大の営業冷蔵倉庫

石狩湾新港地域は道内最大の冷蔵・冷凍倉庫の集積地となっています。



横浜冷凍(株)第二石狩物流センター



(株)ニチレイ・ロジスティクス北海道石狩物流センター

企業紹介



東洋水産株式会社 北海道工場

大手食品メーカーである東洋水産(本社:東京都港区)北海道工場は、石狩湾新港地域(小樽市銭函5丁目)にて2012年3月より稼働中です。95,000㎡の敷地に、鉄骨造3階建て延べ床面積34,555㎡の工場で、衛生と品質管理を重視し、大型の直線生産ラインによる省力化、空調の集中管理などの最新の設備が導入されています。生産拠点、営業拠点、冷蔵倉庫が集約して効率的かつ安定した供給体制が整備され、中でもカップ麺・袋麺・生麺・魚肉ハム・ソーセージに関しては当工場で製造された製品が、北海道全域に供給されています。



花王ロジスティクス(株)石狩センター



YKK AP(株)北海道工場



ホクレンバールライス工場



ぎょりん総合食品(株)



(株)キューソー流通システム石狩営業所



(株)トーモク札幌工場



佐藤水産(株)第二工場



マルスイ冷蔵(株)



コマツ建機販売(株)北海道カンパニー札幌支店



日立建機日本(株)北海道支社



エア・ウォーター物流(株)石狩流通センター



(株)丸和運輸機関アスコムロジスティクス札幌



葛井倉庫(株)石狩新港支店



(株)ホクビー



さくらインターネット(株)石狩データセンター



(株)マテック石狩支店

企業紹介



株式会社あらた 石狩センター

日用品卸大手の株式会社あらた(本社:東京都江東区)石狩センターは石狩湾新港地域(石狩市新港南3丁目)にて約33,000㎡の広大な敷地に、鉄骨造3層、延べ床面積約47,000㎡の最新設備を備えた物流センターを2011年8月より稼働しております。従業員数は正社員含め約700名でセンターは24時間体制で全道の得意先となるDRG・HC・SM・GMSに商品をお届けしております。取扱商品は医薬品、日用品、家庭用品、化粧品、ペット用品等で北海道民の生活には欠かす事の出来ない重要な物流ネットワークの拠点となっております。

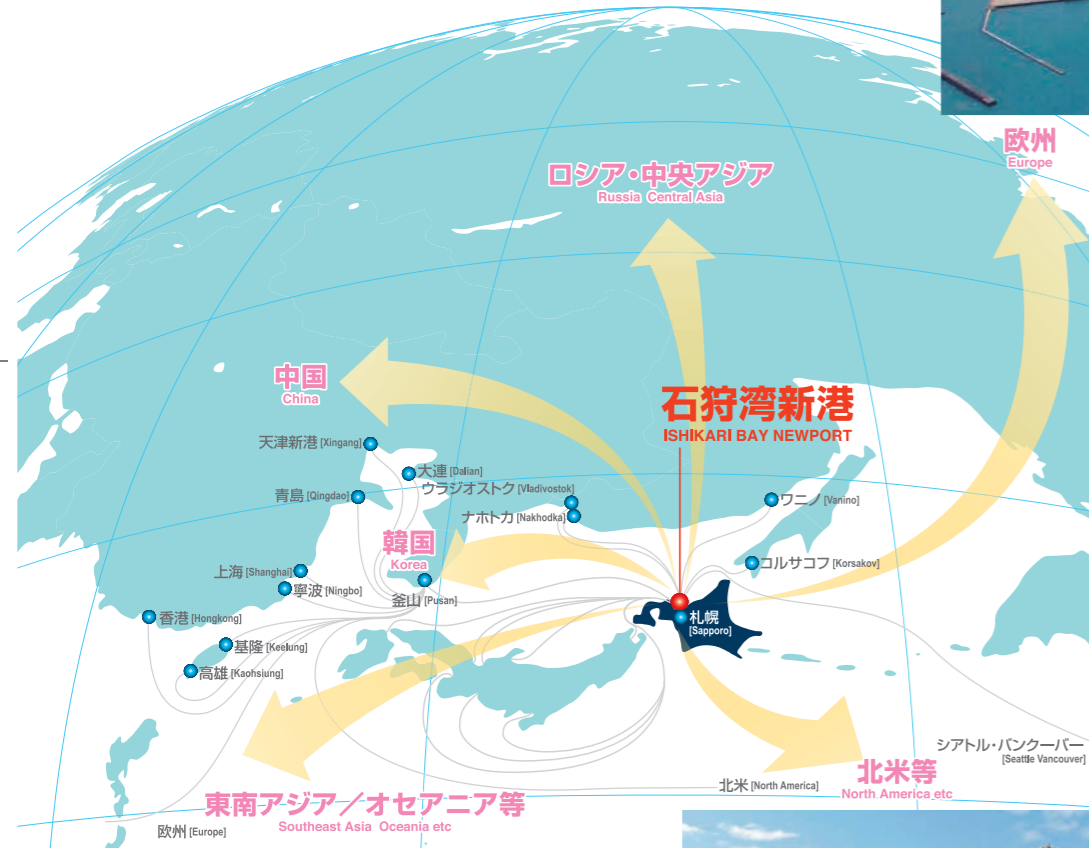


札幌に1番近い 国際貿易港・石狩湾新港

石狩湾新港は、札幌圏の海の玄関として整備が進められている重要港湾です。1982年の第一船入港以来取扱貨物量が年々増加し、1994年には関税法に基づく国際貿易港となり、現在では輸出入総額で道内第3位、外貿コンテナ取扱個数では道内2位の港湾となっています。また、2012年には北海道最大のLNG輸入基地が稼働し、札幌圏を中心とする北海道の物流とエネルギーを支える重要拠点となっています。



石狩湾新港全景



韓国・中国と直結 ～世界へ広がるネットワーク

1997年にアジアを代表するハブ港である韓国釜山港との間で外貿定期コンテナ航路が開通されました。以来釜山港を経由して韓国はもとより、中国・東南アジア・北米・欧州・オセアニアとの輸出入貨物が順調に増加し、2016年にはコンテナ取扱個数が5万TEUを超えるまでに至りました。

さらに、2006年には「水深14m岸壁」を備えた西埠頭が供用開始され、5万トン級の大型船舶の入港が可能になるなど、札幌圏の国際貿易港として一層の機能充実が図られています。



コンテナ船



荷卸し風景



コンテナヤード



植物防疫 検査風景



チップ船



バルク船

北海道のエネルギーを支える重要拠点

石狩湾新港は札幌市に最も近い港湾であることから、北海道の冬の生活には欠かせない灯油・軽油・ガソリンなどの石油製品の受け入れ、供給基地になっています。また、2012年から北海道ガス(株)石狩LNG基地が稼働したことから、札幌市と周辺都市への都市ガスが石狩湾新港からダイレクトに供給されており、北海道のライフラインを支える重要な役割を担っています。



LNGタンカー



オイルターミナル

北海道電力(株)石狩湾新港発電所

北海道における将来的な電力の安定供給に向け、北海道電力(株)は発電効率が高く、環境特性に優れたLNGを燃料とするコンバインドサイクル発電方式の火力発電所を石狩湾新港西地区において建設することとし、2015年に1号機(56.94万kw)の建設工事に着手し、2019年2月から営業運転を開始しました。将来的には3号機まで(総出力170.82万kw)の建設を計画しています。



石狩湾新港発電所完成予想図



石狩湾新港発電所完成イメージ

北海道ガス(株)石狩LNG基地

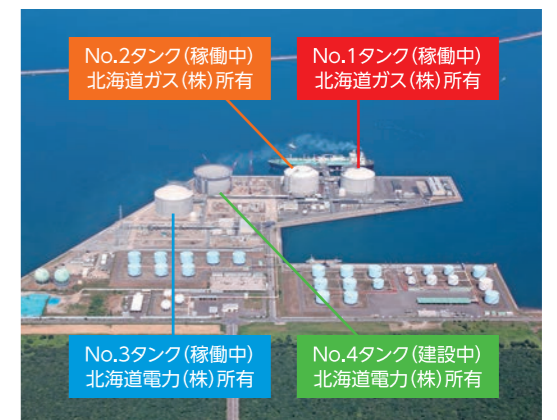
石狩LNG基地は北海道最大のLNG輸入基地です。2012年に1号タンク(18万KL)、2016年には2号タンク(20万KL)と現在2基の大型LNGタンクが稼働しています。都市ガスの原料となるLNGをサハラやオーストラリア等から輸入・貯蔵し、パイプラインを通じて道央圏へ供給しています。また、ローリー車や専用タンカー(内航船)により道内各地のガス事業者やサテライト供給先へと、道内で消費される天然ガスのほとんどは、石狩LNG基地から出荷されています。



LNGタンク



接岸風景



札幌圏を中心とした北海道経済の中枢を支える 石狩湾新港地域は可能性に満ち溢れた先進の産業ステージです。



石狩湾新港地域のあゆみ

西 暦	年 次	事 項
1871年 1910年	明治年間	ファンゲント、C・Sメーク、岡崎文吉、広井勇らにより、石狩湾に新たな港湾を建設するという構想が立てられる。
1964年	昭和39年	石狩開発(株)設立
1965年	40年	石狩工業団地(新港南1丁目)造成開始
1970年	45年	「第3期北海道総合開発計画」が閣議決定され新港地域の開発が決定
1972年	47年	石狩開発(株)が第3セクターとして組織変更「石狩湾新港地域開発基本計画」が決定
1973年	48年	港湾工事に着手 重要港湾に指定
1976年	51年	工業用地造成開始
1978年	53年	工業用地分譲開始
1982年	57年	東埠頭供用開始 第一船入港
1988年	63年	中央水路掘り込み 花畔埠頭供用開始
1994年	平成 6年	関税法の指定を受け国際港湾として開港
1997年	9年	韓国釜山港との間で外貿コンテナ航路開設
1999年	11年	植物防疫法に基づく植物防疫港に指定
2000年	12年	家畜伝染病予防法に基づく動物検疫港に指定
2003年	15年	国土交通省よりリサイクルボートの指定
2006年	18年	西埠頭(水深14m岸壁)供用開始
2010年	22年	国土交通省より重点港湾に選定
2011年	23年	国土交通省より日本海側拠点港に選定
2012年	24年	北海道ガス(株)石狩LNG基地稼働開始、LNG船第一船入港
2015年	27年	北海道電力(株)石狩湾新港発電所1号機工事着工
2016年	28年	外貿コンテナ取扱量5万TEU達成
2019年	31年	北海道電力(株)石狩湾新港発電所 営業運転開始

石狩開発株式会社の概要

所在地	北海道石狩市新港西1丁目721番地11 石狩新港卸センター組合会館2階 TEL 0133-72-2255 FAX 0133-72-4055		
代表者	代表取締役社長 豊岡 孝章		
設 立	昭和39年12月		
資本金	3,300万円		
株 主	北海道	33.3%	(株)日本政策投資銀行 31.1%
	石狩市	0.1%	民間金融機関ほか 35.5%
事業内容	第3セクターとして、国・北海道・関係自治体等と一体となって石狩湾新港地域の開発を進めており、工業・流通用地等の取得・造成、および企業への用地分譲・賃貸ならびに開発に関連する諸事業を実施しております。		